

6. ボランティア活動について

Q 1. ボランティア活動って何？

A 個人の自由意思を基本とし、自分の技能や時間等を進んで提供し、他人や社会に貢献する活動とされ、他人を思いやる心、互いを認め合い共に生きていく態度、自他の生命や人権を尊重する精神などに支えられています。

Q 2. ボランティア活動を始める前に気をつけることは？

A ボランティア活動を始めるときは、次のことに注意しましょう。

- ・活動の趣旨、相手（活動先）が望むことや目指すことを理解したうえで始めよう。
- ・最後まで責任をもって取り組み、決められたことはしっかり守りましょう。
- ・相手（活動先）のプライバシーを守りましょう。
- ・相手に対して「やってあげる」ではなくて、自分が「学ぶ」という姿勢で活動しよう。
- ・自分の体調管理を心がけ、無理せずに行えることから取り組もう。

Q 3. ボランティア活動の内容としてどんなものがあるの？

A ボランティア活動として、たとえば次のようなことが考えられます。

- ・学校の周辺や駅前、公園、河川や海岸等の清掃、空き缶回収
- ・花いっぱい運動へ参加して地域での花づくりや環境美化
- ・老人ホーム等福祉施設における清掃、交流
- ・幼児への本の読み聞かせや簡単な点訳
- ・車椅子、お年寄り宅の電気製品、子どものおもちゃ、公園のベンチ等の簡単な修理・整備など

Q 4. 市ケ尾高校では何か取組みがあるの？

A ①地域貢献活動

地域貢献活動は、学校による働きかけによって生徒の自発性を育み、その後の充実した活動につなげることをねらいとして実施されています。

②ボランティア委員会

ボランティア委員会は各種校内募金、特別支援学校との交流を始め、市ケ尾高校のボランティア活動の中心として活動しています。委員ではないがボランティア活動を希望する生徒に対しても、ボランティア情報を発信（職員室前の掲示板、クラスでの連絡、ボランティア通信等）しています。

Q5. どうすれば参加できるの？

A ボランティア委員会に入るといろいろなイベントなどの情報がもらえます。また、入らなくても、職員室前の廊下にポスターなどが掲示されるので、主催者などに自分で直接連絡することも可能です。

また、皆さんが生活している地域のボランティア活動の拠点として、県内18か所の市民活動サポートセンター等が、「地域ボランティアエアポート」として位置づけられています。ここへ行くと、高校生の地域のボランティア活動に関する相談・紹介、高校生の地域のボランティア活動に関する調整、ボランティア活動の企画・運営等を行うための高校生への場所の提供などが受けられます。地域の方々とながらを持ちながら、ボランティア活動を自主的・自発的に、そして積極的に行うために活用してください。

Q6. 単位認定してくれるの？

A 35時間に相当する活動をしたと認められた場合、「1単位（卒業までに最大2単位）」として認定されます。

公的機関やそれと同等の信頼できる団体等の受入や仲介のある活動で、受入先と仲介先と十分に連絡がとれ、活動の証明の交付が可能であると校長が審査し認めたもので、原則として長期休業中または休日・祝日に行ったものを対象とします。インターンシップと違って、自分で活動の記録を作っていくことが必要です。

活動する生徒は、事前に届け出をし、「ボランティア日誌」を作成し、活動を行うごとに、活動日時・活動概要・該当の機関名及び担当者名・感想等を記入します。活動後、「ボランティア日誌」の所定欄に該当機関の活動証明を必ず受けておきましょう。

*地域ボランティアエアポート

皆さんが生活している地域のボランティア活動の拠点として、県内18か所の市民活動サポートセンター等を、「地域ボランティアエアポート」として位置づけることになりました。これは、各市民活動サポートセンター及び市民活動サポートセンター等を設置した市町に連携・協力をいただき、実現したものです。

地域の方々とながらを持ちながら、ボランティア活動を自主的・自発的に、そして積極的に行うために活用してください。

地域ボランティアエアポートの機能

高校生へ次のいずれかの支援を行います。

- ・ 高校生の地域のボランティア活動に関する相談・紹介
- ・ 高校生の地域のボランティア活動に関する調整
- ・ ボランティア活動の企画・運営等を行うための高校生への場所の提供
- ・ 高校生と地域の人々が協働して行うボランティア活動の企画・運営・実施

市ヶ尾高校から比較的近いところは次の2箇所です。

- ・ 横浜市市民活動支援センター（横浜市中区桜木町1-1-56MM21クリーンセンター4・5階）
- ・ 横浜市青少年交流センター（横浜市西区老松町25）